

反共謀略ビルを全国展開



統一協会の政治組織「国際勝共連合」の事務所が2階に入るビル=22日、東京都千代田区

開祖の言で 信者あわる

統一協会（世界平和統一家庭連合）の政治組織「国際勝共連合」が、統一地方選挙にあわせて反共謀略ビルを全国で配布している。本紙の取材で、勝共連合幹部が、統一協会への社会的批判は日本共産党による「策動」の結果であると信者に語った上で反共キャンペーンを駆り立てる「おもい」が分かってきた。

（統一協会取材班）



統一協会・勝共連合

た。韓総裁の一貫は非常

ありがたかった…。

門に入つて仙台市など北東に話を聞いてしまふ。関係者は「勝共連合副主席が、毎週新聞元首相の統率誕生日等、統一協会・勝共連合が批判を受けているのが、「日本共産党の策動だ」と信者らに訴えていた」と語る。

■ 敵意むき出し

本紙が確認したある集会では、渡辺氏がこんな話を

してしまつた。
—統一協会の韓鶴子総裁は、批判の言葉と共に「敵意」をあおつて、日本共産党の策動があり、これを阻止するため、私たちの心地を明確にする必要があると述べ

年末から計画

し始めた。首都圏のある地域では、統一地方選挙が始まるのと同じ時期に、勝共連合幹部が、統一地方選前にだかね共産党の影響を与えるためたむろひで配布をする、と語ったところ。
統一協会・勝共連合が社会的に批判されているのは、血眼鏡と癌細胞、靈感商法、高額献金、集団結婚など反社会行為を繰り返してきたからです。これらは反社会的行為は裁判でも違法だと認定されています。

社会的批判が高まるなか、統一協会・勝共連合は窮地に立っています。渡辺氏は先の集会で「（統一協会・勝共連合への）批判はおかしい」と反撃する。反撃しながら「反撃できなといふわれる」と述べています。また関係者によると、統一協会のある教長は信者を前に、「これが最後のたたかい」「大変なことが共産党とのたたかい」と檄を飛ばしたといいます。

邊い詰められた統一協会・勝共連合が反共謀略として「存在意義」を示さうとしている、そんな狙いが浮かび上がります。